

直面しているテレワークの課題や悩みは 最新テクノロジーを活用

テレワークで直面している課題や悩みの解決に役立てるために、富士通の最新ノートパソコン「LIFEBOOK U9310/E」のモニターに参加したITコンサルティング企業、アベニール・ジャパン。創業時から取り組んでいるテレワーク環境の強化が狙いだ。同社がテレワークに力を入れる理由や運用方針などとともに、「LIFEBOOK U9310/E」のモニター体験の成果について紹介する。

全社員一斉の在宅勤務で セキュリティの徹底が課題に

アベニール・ジャパンは2016年4月の創業時からテレワーク環境の強化に努めてきた。その理由を同社の鍋木優子代表は次のように話す。

「主な理由は二つあります。一つは、私自身も含めて社員が育児や親の介護などが必要になったときにも、時間や場所にとらわれず柔軟に働き続けられる体制を整えるため。もう一つは、地域を限定せず、優秀な人材を採用するためです。当社は東京・恵比寿にあります。ここに通える範囲内で募集するのと、テレワークを前提に全国を対象に募集するのでは、優秀な人材を採用できる確率は格段に違ってきます。実際、今一番遠いのは佐賀県佐賀市在住の社員です」

社員18人のうち、通常時からテレワーク(在宅勤務)を行っているのは、週5日が2人、週4日が2人、週2日が8人の合計12人となっている。コロナ禍が発生した当初の2020年3月に急遽、全社員が一斉に在宅勤務を始めたのだが、業容拡大に合わせて急ピッチで増員している最中だったこともあり、テレワーク環境を整えていたとはいえ課題もあったという。

「当社ではお客様の機密情報を扱う業務が多いため、入社間もない若手社員もいる中でセキュリティをどのように徹底するかが最も大きな課題でした。また、コミュニケーション面でも不安がありました。社員間の意思疎通がフェース・ツー・フェースからチャットやメール、テレビ会議に代わり、微妙なニュアンスが伝わりにくくなる可能性があったからです」(鍋木代表)

ただ、新たにルールを設けることなどはしなかった。「あれもダメこれもダメと制約が増えると業務効率やモチベーションが下がってしまうため、最新のテクノロジーを活用して課題解決を図るというのが当社の方針です」(同)。



鍋木優子
アベニール・ジャパン代表取締役

家族間でも情報漏洩には 細心の注意が必要

富士通の最新ノートパソコン「LIFEBOOK U9310/E(13.3型ワイド ウルトラ・スリムモバイル)」のモニターに参加したのも、社員がテレワークで直面している課題や悩みの解決に役立てたいという狙いがあったからだ。

鍋木代表の勤めでモニター利用したのは、週1日出社、4日テレワークで働く、ともに子育て中の入谷真紀さんと田中玲子さん。なぜこの2人だったのだろうか。

「ちょっと目を離した隙に子どもがパソコンを触ったりロックを解除してしまったりして、大事なデータにトラブルを与えてしまわないか、家族間でも心配という声を聞いていたのですが、

これらの悩みが『LIFEBOOK U9310/E』の性能をもってすれば解決できるのではないかと思ったからです。家族間であっても、情報漏洩には細心の注意が必要です」(鍋木代表)

「U9」の3つの特徴が 課題や悩みの解決に役立った

では、モニターの結果はどうだったのか。

鍋木代表は「LIFEBOOK U9310/E」の次の3つの特徴が課題や悩みの解決に役立ったという。

1つは、安全性の高い生体認証の中でも認証精度が高い「手のひら静脈認証」だ。パソコンに内蔵された手のひら静脈センサーに手のひらを一瞬かざすだけで、ログオンやロック状態の解除ができる。これによってユーザーは、面倒なパスワード入力から解放される。

「パスワードは盗まれるリスクがありますが、手のひら認証ならパスワード自体が不要です。子どもがロックを解除してしまう心配もありませんから安心ですね」(鍋木代表)

2つめは、約777g、約15.5mmという圧倒的な軽さと薄さ。

「初めて持ったときはモックアップじゃないかと思ったくらい軽かったです(笑)。これなら女性でもカバンに入れて楽々持ち運べるし、ノートパソコンを複数台持ち歩いている社員にも大好評でした」(同)

軽くて薄い一方で、その堅牢性能も折り紙付きだ。高さ76センチからの落下試験／振動試験や加圧加重200kgfといった富士通独自の厳しい製品品質評価試験をクリアしていて、安心して扱える。

3つめは、最も基本的な部分であるキーボードの入力のしやすさやボタンの押しやすさだ。

同社営業統括本部のテクニカルスペシャリスト、井上明之氏も「キーボードの打ちやすさ」をメリットとして挙げる。「テレワークの場合、チャットやメールでのやり取りが増え、素早く返信しなければならないことも多いのですが、急いで入力すると誤字・脱字も増え、ストレスが溜まるものです」(井上氏)。

「LIFEBOOK U9310/E」は深いキーストローク(1.5mm)と

フィットしやすい凹凸形状の球面キートップで、心地よいタッチを実現している。また、フルサイズキーボード搭載でキー間隔が広いと、井上氏は「打ち間違いがかなり減った」と指摘し、さらに「打つ音も静かで、オンライン会議中の入力も気になりません」と感心する。

さらに気づいた点として、コンパクトなのに、インターフェースがたくさん装備されているところだという。「以前、ウェビナーの最中に無線LANが切れてしまい、急遽、有線LANに替えて乗り切れたこともあった」(井上氏)からだ。さらに、23時間(※)連続使用できる大容量バッテリーについても「外出先で連続使用できるから便利」(同)と評価する。※大容量バッテリー搭載の場合(タッチパネル非対応モデル)。標準バッテリーでは約11時間

社員一人ひとりに最適な ノートパソコンを与えることが重要に

今回のモニタリングを通して鍋木代表は、働き方改革やテレワーク、業務効率化などを進めるうえでノートパソコンの重要性がよりいっそう高まっていることを改めて感じたという。

「多くの企業でテレワークが進む中、クライアントとの会話も含めてノートパソコン一つで業務が完結できるようになり、デバイスの性能が業務効率に大きく影響するようになっていきます。機種を統一している企業も多いと思いますが、今後は社員一人ひとりに業務内容や働く環境に合わせて最適なノートパソコンを与えることが重要になるでしょう。テクノロジーの進化は日進月歩ですから、新しい技術を積極的に取り入れていくことも大切です。常に最新のノートパソコンに切り替えていくコストはその時点では負担になりますが、社員の業務効率に直結するアイテムなので、長い目で見れば投資した何倍ものリターンがあると考えています」(鍋木代表)

働き方改革やウィズコロナによってテレワークがニューノーマルとなる中、いかに快適なノートパソコンを社員一人ひとりに付与できるかが、今後の生産性や業務効率を大きく左右することになりそうだ。

井上明之
アベニール・ジャパン営業統括本部
ストラテジックマーケティング部
テクニカルスペシャリスト



「LIFEBOOK U9310/E」を使ってみてどんな悩みを解決できた？

静脈認証とのぞき見防止で セキュリティの不安を解消

入谷真紀さん（アベニール・ジャパン社員）



手のひらをかざすだけの静脈認証を搭載。パスワードを記憶する必要がなく、漏えいやなりすましを防止できる。

子どもは13歳と7歳の2人。言い聞かせているのでパソコンに触ることはありませんが、漢字もけっこう読めるようになってきているので、子どもが部屋に入ってきたら画面を見せないように気をつけています。ただ、何かの拍子に見てしまい、その内容を友達に話してしまうのではないかと心配が……。また、業務面ではきちんとコミュニケーションがとれるかどうか不安でした。

子どもの相手などでたびたびロックしますが、静脈センサーに手のひらをかざすだけで簡単にログインできるからとても便利。専用のプライバシーフィルター（別売）を付けていたので、横から覗かれる心配もないですね。また、在宅勤務では文章でやりとりする機会が増えますが、キーボードは打ちやすくて入力ミスが減り、レスポンスよく返信できるようになったので、スムーズにコミュニケーションがとれるようになりました。

驚きの軽さ、子どもを抱えての 移動もラク

田中玲子さん（アベニール・ジャパン社員）

子どもは一人で3歳。ちょうど手のかかる年齢なので、面倒を見ながら効率よく働けるかどうか不安でした。親のやることを何でもマネしたが、パソコンにも興味津々です。前職のとき、いきなり近づいてきてキーボードやトラックポイントを触られてしまい、「あややデータ消滅か」ということも。「LIFEBOOK U9310/E」でも私のマネをして静脈センサーに手のひらをかざしていましたが、親子でも当然開きません（笑）。

まず驚いたのは片手でラクラク持ち運べる軽さ。移動中にPCを入れたバッグと子どもの両方を抱えることも多いので、この軽さに助けられています。子どもが近くに来てジュースをこぼしたときも、とっさに片手で持ち上げてセーフ！ これも超軽量のおかげですね。ガーネットレッドのボディカラーとシンプルなデザインも私の好み。仕事のテンションも自然と上がります。



FUJITSU LIFEBOOK U9310/E

超軽量で多彩なセキュリティ機能を搭載。
持ち歩きたくなる最高クラスのモビリティ。
第10世代インテル® Core™ i5 vPro®プロセッサ搭載



FUJITSU

富士通株式会社

https://www.fmworld.net/biz/workstyle_henkaku/

問い合わせ先

【購入相談窓口】0120-959-242

受付時間9時～18時（土・日・祝日・年末年始を除く）